

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

政務活動費使途で協議

議会改革特別委員会（熊沢あやり委員長）が開かれ、政務活動費の使途基準等を協議することに決定しました。今期で第 15 期になりますが、私は委員の一人になりました。

会議の冒頭で、私は問題点を明確にするために、「この政務活動費の使途に関して、メディアに誤解があり、町田市議会を取材した読売新聞は、その使途基準を議会事務局が決められていると言うような記述をしており、住民に誤解を与えている」と述べました。議会のことを書くのに、議員自身に取材をしないことで誤解させた記事になっていることを強調しました。

選挙運動の応援で、政務活動では無い



武蔵村山市・天目石候補の応援演説

また、私は今回の発言で、町田市議会は、この政務活動費に関して調査研究費と言われていた時代から公開を実施していたことと、我々は住民に分かりやすくする立場で、以前からルール決定を議員自身が行っていることを改めて述べました。そうした上で、実情にあった政務活動費のあり方の改善を早々に図るべきことを述べました。

今後、頻繁に委員会の会議が開かれます。

統一地方選結果の感想

全国の地方自治体の多数で議員、首長選挙が実施されました。一言で言えば、大変動は起きたと言えるでしょう。

政党所属候補では得票順位のばらつきがあり、強大な組織力を誇る公明党や共産党でも顕著でした。一方で上位当選者があり、他方で落選者も出るなど、以前には無かった特徴でした。他方、無所属候補は、基盤や経歴や経済力に不足がある候補は不振でした。平成生まれも多数出てきましたが、その傾向が顕著でした。候補者が多いと「若さ」や「女性」だと言うだけでは通用しない時代が訪れました。

私の経歴上で、サラリーマン新党（その創立に関わり、国政の候補者にもなっている）というものがありますが、その後、この運動にかかわった人たちが前回と今回の地方議会選挙を通じて、議席を失ってしまいました。政党組織に関わり過ぎた人物と、逆に新たな政治課題に対応不足であった人物がありました。他方、私の元インターン生の中では珍しく地方議会議員選挙に挑戦し、見事 2 位となり、愛知県江南市議に東猴史紘さん（第 10 期研修生）が当選しました。



★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート① 太田 朝子

この日は、南町田のグランベリーモールと鶴間公園を見学しに行きました。グランベリーモールは、祝日ということもあり、非常に賑わっていました。しかし数年後に大きく作り直す予定であるとの事です。こんなに人が集まっているのに無くなってしまふ事は寂しいと思うと同時に、改築する目的や、経済効果、メリットなどを知りたいと思いました。

鶴間公園では、道路を潰してこのグランベールモールと公園とを合体させる計画だという現場を見学しました。道が一部無くなることでの不便が無いのか調査する重要性を感じ、また税金が使われるのであれば、最大限有効な、近隣の住民に利益の大きい工事である事を望みます。



最後に、通称ことばらんど、という町田の文学館へ行きました。宮川哲夫さんという昭和のヒット歌謡曲の作詞を多く手掛けた方の展示を見ました。

「僕が子供だった頃に実際に見ていた物が、もう博物館に入っているんだね」という吉田さんの言葉が印象的でした。

今は、検索すればネットで何でも見られる時代ですが、こうして直接に実物を見た時の感慨深さは、体験ならではのものだなと感じます。

慶應大学 2 年生 太田朝子 (第 36 期研修生)

研修レポート特別編 渡辺 梨菜

六本木にある国立新美術館を初めて訪問しました。町田市立国際版画美術館とは違って、ガラス張りのモダンで非常におしゃれな印象の建物でした。この日は、吉田議員に同行して会場で開催されている「89 th 国展」を鑑賞しました。プロ・アマを超えて多数の人が全国から出展した、絵画・版画・彫刻・工芸・写真の全コーナーを見て回るだけで一日かかるようでした。そのために、写真と絵画のコーナーを主に観てまわりましたが、写実的な作品、抽象的な作品、コミカルな作品などの様々の傾向がありました。2m 以上の作品もたくさん並び、ゴージャスな雰囲気にも包まれていました。工芸のコーナーでは、藍染めの大きな作品が気になりました。小学校の授業で取り組んだ記憶が思い出されました。

この日は連休中で、大勢の人が連なって入場していました。特に、ルーブル美術館展が開催されているために、フロア全体が熱気に漂っていました。世界的な作品を鑑賞する時間がなかったのが心残りでした。またの機会に訪れたいと思っています。



フェリス女学院大 4 年 渡辺梨菜 (34 期生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp